

長野県上田市発のご当地ヒーローの製作・活動

取組に至る背景・事業の目的

上田市は文化、自然、歴史に恵まれた地域であるが、その魅力をより効果的に発信し、市民の郷土への愛情を醸成することが元気ある地域をつくるうえで重要であると考え、上田市の魅力を盛り込んだご当地ヒーローキャラクター「六文戦士ウェイダー」を考案した。

この事業は、上田市の魅力を「情報」として発信するのではなく、子どもから大人まで幅広い世代が「共感できる形」にアレンジして発信することによって、上田市に対する興味と愛着を持っていただくことを目的としている。

事業内容

- アトラクション用スーツ製作
材料を調達し、プロジェクトのメンバーで自主制作した。
主役（ウェイダー）1体、悪役3体の計4体を製作。
- アトラクションショーの開催
上田市周辺で開催された35のイベントに出演した。
延べ約3,500人の観客が集まり、イベントを盛り上げた。
- PR映像・リーフレット・ホームページの製作
事業の趣旨を紹介するリーフレットを作成し、ショーや市内の公共施設で配布した。
また、映像製作会社に委託してウェイダーの主題歌をベースとした4分程度の映像を製作し、映像を記録したDVDを県内市町村、地域の公共施設等に配布した。



【 六文戦士ウェイダー 】

事業効果

アトラクションスーツを製作し、実際にショーを開催することで、地域の子どもやその親の世代をはじめ、多くの方々に上田の魅力を直接発信することができた。

市内外のイベントに35回出演することで、上田を広くPRするとともに、イベントの集客や話題性の向上にも貢献することができた。



【市周辺のイベントに35回出演】

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

デザインの段階から3DCGを使い、人体にフィットするパーツ構成や見え方に矛盾が無いよう考察を重ね、Facebookを活用して周囲の反応や意見を取り入れるように工夫した。

スーツの製作は全くの未経験だったが、造形の担当者がゲームのコスプレを製作するファンサイトから情報を入手し勉強を重ねた。しかし、ショーの開催やメンテナンスに手間をとられ、計画どおりにキャラクターを増やすことが出来なかったことが反省点である。

アトラクションショーは、「地元ネタ」を盛り込んだ脚本を制作し、事前に収録・編集を行い、ベストなタイミングの音素材を制作した上で、それに合わせて芝居をする方式にした。

今後はキャラクターを増やしつつ、ショーの内容の充実を図ることで上田の魅力を発信していきたい。

【選定のポイント】
地元の魅力を盛り込んだご当地ヒーローと関連キャラクターを製作し、地域内外のお祭り等に参加、ショーを開催することで、町の賑わいを創出するとともに、幅広い世代の上田市に対する興味と愛着を醸成することに寄与した。

団体名	ウェイダープロジェクト（上田市）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	0268-24-5980	事業費	2,828,239円
ホームページ	http://uedar.com/	支援金額	2,121,000円